

平成27年7月27日  
10:00～16:30  
会場：上川合同庁舎  
1階103号会議室

### 第3回 第6地区教科用図書採択教育委員会協議会記録

◇出席者 上川管内市町村教育長（旭川市を除く）  
◇事務局 富良野市教育委員会

#### 1 議題

- (1) 平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択について
- (2) その他

#### 2 協議会の審議と採択の記録（議長は協議会長）

事務局	只今より第3回第6地区教科用図書採択教育委員会協議会を開催します。開催に当たり、協議会会長より御挨拶申し上げます。
会 長	委員の皆様には御多忙の中、御参集いただきましたことに対して厚く御礼申し上げます。本日は平成28年度から中学校で使用する科用図書の採択を行う大切な協議会でございます。各委員の皆様におかれましては、教科用図書の内容協議について、それぞれ調査・研究されてこられたと思います。この協議会において議論を尽くしていただき、子どもたちの指導に当たって最もふさわしい教科用図書を選定できるよう御協力願い申し上げ、協議会開催に当たっての御挨拶にさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。
事務局	この後の議事につきましては、議長に進行をお願いします。
議 長	はじめに経過報告について、事務局から報告を申し上げます。
事務局	事務局よりこれまでの経過を報告させていただきます。6月1日に開催しました第2回第6地区教科用図書採択教育委員会協議会において、第6地区教科用図書調査委員を確認し、6月30日に68名の調査委員の出席の下、平成27年度第1回第6地区教科用図書調査委員会を富良野市富良野文化会館で開催し、調査研究の要領、観点、報告書の作成等について確認しました。調査委員には、この日から自宅において調査研究をしていただき、7月14日と15日の両日、平成27年度第2回第6地区教科用図書調査委員会を富良野市ハイランドふらので開催し、小委員会ごとに「報告書」を作成していただきました。この報告書につきましては、7月17日に皆さんに配布しております。また、各市町村教育委員会において実施した、平成27年度における教科書展示会では、3,844人の閲覧者と22枚のアンケート用紙の提出があり調査の参考としたところであります。本日は、種目ごとに教科用図書を採択していただきますので、よろしくお願い申し上げます。また、第2回第6地区教科用図書採択教育委員会協議会において、次期担当事務局として中央地区の東神楽町にお願いすると確認しております。事務局からは以上でございます。
議 長	只今報告ありました事務局からの報告について、質問などがありましたらお願いします。よろしいでしょうか。
委 員	はい。
議 長	議案に入りたいと思います。委員の変更について事務局よりお願いします。
事務局	平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択に入ります前に、提案させていた

	<p>だきます。協議会委員の変更についてお願いします。協議会委員として、幌加内町の佐藤勝委員から児玉博委員に、下川町の蓑谷春之委員から松野尾道雄委員への変更について御了承願います。</p>
議 長	<p>ただ今、事務局から提案があった協議会委員の変更について、御了解をいただきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>異議なし。</p>
議 長	<p>事務局案は了承されました。次に平成 28 年度から使用する中学校教科用図書の採択に入ります。初めに国語についての研究・報告書に基づく調査結果について、小委員長から報告をしていただきます。</p>
国語小委員長	<p>&lt;国語小委員長入室&gt;調査結果の報告</p>
議 長	<p>小委員長に質問はありませんか。</p>
委 員	<p>基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習についてどの程度扱われていますか。また、生徒が自ら学び、課題を解決する能力を育成するためにどのような配慮・工夫がされていますか。</p>
国語小委員長	<p>1 点目の基礎的・基本的な知識・技能の習得に関してですが、全ての発行者が、知識・技能を習得する学習を取り扱っています。特に、東京書籍では、「言葉の力」など全学年合わせて 77 箇所、学校図書では、「ついた力を確かめよう」など全学年合わせて 65 箇所扱われています。その他の出版社につきましても扱われています。</p> <p>2 つ目の、生徒が自ら学び、課題を解決する能力の配慮・工夫ですが、これについても、全ての発行者が、個人で見通しをもてるように工夫をしています。特に、教育出版では「読むこと」領域の読解のポイントを示した「ここが大事」、東京書籍では「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の単元に「学習の流れ」が掲載されていることなどが大きな特徴です。</p>
議 長	<p>その他ございますか。</p>
委 員	<p>各者とも北海道のことについて書かれていますが、どのように扱われていますか。また、各者のユニバーサルデザインについて、どのような配慮・工夫がなされていますか。</p>
国語小委員長	<p>1 点目の、北海道と関わりのある単元については、多くは北海道出身者等の名前が</p>

	<p>掲載されています。短歌については、作者が北海道出身者ということが多いです。東京書籍では、3年生の「評価しながら聞こう」の中で、知床半島について扱われている部分があり、学校図書では、3年生「運動会」の中で、札幌農学校について掲載されているなどの特徴が見られます。</p> <p>2点目のユニバーサルデザインについては、領域ごとに色分けされており、例えば三省堂では、識別しにくい配色を避けて、色の濃淡や罫線などの工夫がなされています。教育出版では、配色やレイアウトの工夫が見られ、光村図書では、配色や形、色の濃淡等、識別しやすい工夫がなされています。</p>
議 長	その他、質問はありませんか。
委 員	それぞれの教科書について聞きたいのですが、全体的な学習の見通しについて、それぞれの程度記載されているか、教科書毎で特徴があれば教えてください。
国語小委員長	各者とも使用上の配慮等についてという部分が記載されていますが、その中の生徒が主体的に学習に取り組む工夫について、例えば、教育出版では「ここが大事」という場面を設けており、各者それぞれ工夫がなされています。一つずつ示した方がよろしいでしょうか。
委 員	全部扱っているということでしょうか。
国語小委員長	各者それぞれ、その部分については扱われており、それぞれ見通しをもって学習できるようになっています。
議 長	その他ございますか。
委 員	各者とも、その他の欄のマルの2つ目に、小学校と高等学校との連携の状況が記載されていますが、三省堂だけ小と高との繋がりが記載されていません。これは、実際に記載がないのでしょうか。
国語小委員長	三省堂の教科書からは、読み取ることができませんでした。三省堂の編集の趣意書も参考にしましたが、連携についての記載はありませんでした。そのようなことから三省堂につきましては、記載しませんでした。
委 員	小学校との連携を明確にしている者と、高校との連携を明確にしている者がありますが、その違いや特色について説明をお願いします。
国語小委員長	学校図書では、「スイミー」という小学校の教材を取り上げ、その関連を示したり、

	<p>古典文法では、中学校では扱わなくてもよい内容を巻末で取り上げたりしています。また、光村図書では、高校で頻繁に取り上げられる作者や筆者の作品を巻末の付録に載せていました。</p> <p>&lt;国語小委員長 退室&gt;</p>
議 長	<p>それでは国語についての協議を始めます。御意見をお願いします。</p>
委 員	<p>東京書籍・教育出版・光村図書の3者がよいのではないかと考えます。その中でも総合力で光村図書が優れていると考えます。その理由として、「少年の日の思い出」という教材を一つの例として取り上げます。各者とも手引の中で、目標を設定しておりますが、光村図書の場合は、目標に対してどのように読むか、どこに着目して学ぶかということをしっかり示しています。</p> <p>一方、教育出版の場合は、「ここが大事」という部分において、文章が羅列しているだけで、焦点化されておらず難解であるという印象を受けました。</p> <p>また、東京書籍の場合は、目標設定に対して振り返りがないという点がありました。こうした点から光村図書が優れています。</p> <p>さらに、基礎・基本の定着を図るという観点から、目標を定め振り返りを行うことが大切であり、光村図書の場合はその点がしっかりしているという特徴があります。教育出版は、目標に対する振り返りが項目にチェックするだけになっていますし、東京書籍の場合については、振り返りの箇所が見付かりませんでした。</p> <p>もう1つ「走れメロス」の教材について比較をしました。東京書籍は、学んだことを観点的に振り返るページがなく、言語化する場がありません。人物像に着目する学びの扉などでリンクはしておりますが、光村図書のように多様な読み方を一覧できる場がありません。光村図書は、色々な読みができるようになっていることが大きな特徴であります。</p> <p>また、光村図書の優れている部分として、読書単元がすばらしいということがあります。光村図書の第1学年8ページ「学習の見通しをもとう」では、どのような力を付けたいのかが分かり、なぜここが大事なのが生徒にも先生にも分かりやすいという大きな特徴があり、光村図書がよいと考えます。</p>
議 長	<p>今、光村図書がよいという理由を含めて意見がありましたが、その他意見はありますか。</p>
委 員	<p>先生方や生徒の使う方の立場に立つと、前回の採択で発行者が変わり、今回も発行者が変わるとなるといかなものかと考えており、現行どおりがよいのではないかと考えます。</p>

委 員	<p>その意見に対しては、先生が現行の教科書に慣れ親しんでいることがあるかも知れませんが、最終的にはよりよい教科書を選ぶということを主眼において決定をしていくべきと考えます。</p> <p>また、光村図書の教科書は難しいという意見もありますが、決してそのようなことはなく、全国的にも光村図書の教科書のよさを認めて、全体的に採用しているという様な事例もあるようですので、最終的にはよりよい教科書を選ぶべきと考えます。</p>
議 長	<p>今、意見が何点かありましたが、他にありませんか。</p>
委 員	<p>光村図書は、先ほど「読むこと」について意見がありましたが、「書くこと」についても優れています。また、学習の見通しについても、分かりやすいです。確かに発行者が変われば、現場は大変かも知れませんが、そのことを理由として教科書を変えないのであれば、採択委員会の意義がなくなってしまいます。毎回、現在の生徒にとってどの教科書を使って教えるのがベストかということを、教科書を見て適切に判断することが大切であると考えます。</p>
委 員	<p>発行者を変えることは悪いことではなく、よりよい教科書を選ぶことは当然大切なことです。しかし、総合的な観点で考えていかなければいけないということです。工夫が見られたからと言って、毎回変えた方がよいのかどうか、我々採択する側の大きな責任です。生徒や先生方のことを考え採択することがとても大切なことです。採択会議を行う度に、これまでの考えなどが全て一掃されるのはよくないと考えます。</p>
議 長	<p>はい。ありがとうございます。</p>
委 員	<p>今、総合的な観点という話がありましたが、生徒の日常生活や社会生活において、適切に言語活動を行うことができるような能力を身に付けることが大切です。そういう観点で6者を見ていきますと、光村図書が、知識・技能の習得や活用するという部分についてもバランスが取れていると判断しています。総合的な観点から考えると、光村図書がよりよい図書であると考えます。</p>
議 長	<p>他に意見はありませんか。</p>
委 員	<p>総合的な観点という中で、光村図書だけがユニバーサルデザインの観点において、色をあまり使っていません。他者は工夫されて見やすいのですが、あえて他者と異なることをしているのは、どういう意図があるのでしょうか。</p>
議 長	<p>先程、小委員長からユニバーサルデザインについては、各者とも工夫されているという説明がありましたが、そのことについて意見がある委員はいませんか。</p>

委 員	光村図書の教科書を見ると、色分けが工夫されており、また、葉などを使って大事なところを示していますので、ユニバーサルデザインの観点で、光村図書が劣っていないと考えます。
委 員	これまでの教科書と比べ新たな部分において様々な意見が出されましたが、このような場合、ここで1者に決めるのか、あるいは最後に再度話し合うのか、または、予備日があるのでそれまでにもう少し教科書を読み込みたいという方もいますので、少し時間をいただきたいと考えます。
委 員	採択の観点について確認していただきたいと考えます。安易に、「これまで使用していたから」という理由や「他の地区で採択している」という理由で採択しないということを、明確に押さえた中で発言をすることが望ましいです。
議 長	それぞれの意見があり、今、光村図書という意見が多数出ていますが、その他の教科書がよいという意見の方はいませんか。現在、東京書籍を使っているということで、基本的に東京書籍にすべきではないかという意見も一つあります。総合的な意見としては、光村図書がよいという意見が多いようですが、東京書籍がよいという意見が一つと、もう少し確認の時間がほしいという意見もありました。いずれにしても、発行者が変わるということになれば、それだけ重たい決断になります。今日、会議の最後に再度確認をする場所を設けたいですがいかかでしょうか。
委 員	はい。
議 長	<p>それでは、国語については最後に協議をさせていただき、それまでに読み込みと確認をお願いします。</p> <p>それでは、国語についての協議はいったんこれで終了します。</p> <p>続いて書写について小委員長から報告をしていただきます。</p>
書写小委員長	<書写小委員長 入室> 調査結果の報告
議 長	小委員長に質問はありませんか。
委 員	文字を正しく整えて速く書くために大切となる正しい姿勢や筆記用具の持ち方について示している教材はありますか。また、北海道の素材を掲載しているものなど、興味・関心や学習意欲を高める学習内容を取り上げた教材はありますか。
書写小委員長	1点目の姿勢や筆記用具の持ち方などを視覚的に示す写真などの教材については、

	<p>全ての発行者が掲載しております。特に、東京書籍は22、教育出版は21、光村図書は20となっております。2つ目の北海道の素材については、生徒が意欲的に学習に取り組むことができるよう、北海道と関連のある教材を扱っている発行者は3者あります。具体的には、東京書籍は、道内にある銅像や石碑の写真など3箇所、7ページ・38ページ・84ページにあります。教育出版は、はがきや年賀状に住所を記載する際の「北海道」の文字など3箇所、55ページ・97ページ・119ページにあります。光村図書は、昭和27年に作られた札幌市の観光バスのポスターなど2箇所記載されています。具体的には、53ページと65ページをご覧ください。</p>
委 員	<p>生徒にとって学習しやすい教科書となるよう、どのような配慮をしていますか。また、小学校書写からの接続をどのように図っていますか。</p>
書写小委員長	<p>1点目の学習しやすさへの配慮ですが、全ての発行者において生徒が学習しやすい紙面となるよう配慮しております。例えば、東京書籍は判型の横幅を広くしたワイドな紙面を活用して資料を掲載していますし、教育出版は二色の薄墨による解説書を掲載しています。また、三省堂は扉ページの背景に手漉き和紙をデザインしたつくりとなっていますし、光村図書はカラーユニバーサルデザインを用いるなど工夫しています。</p> <p>2点目、小学校書写からの接続ですが、全ての発行者において、小学校との関連が図られています。例えば、東京書籍では、「点画の書き方と図形」(P8～9)、「楷書の基本画点」(P12～13)、「楷書のまとめ」(P22～25)に記載されており、小学校の学習事項の定着が確認できるようにしています。また、教育出版では、「基本点画」「筆圧」「穂先の動き」などの学習を第1学年の最初(P12～13)に行い、それによって小学校の復習ができるようになっています。</p> <p>&lt;書写小委員長 退室&gt;</p>
議長	<p>それでは、書写についての協議を始めます。御意見をお願いします。</p> <p>先程の国語との関連もあるかも知れませんが、意見のある方は出してください。</p>
委 員	<p>国語と書写の関連について、国語はA者、書写はB者というのは、先生・生徒に混乱や迷いが生じるということで、基本的な考えとしては、国語と書写の出版者については、共通に選択することが望ましいです。</p>
議 長	<p>今、御意見をいただきましたが、書写は国語との関連が非常に深いことから、国語の後に再度協議を行うことでよろしいですか。</p>
委 員	<p>はい。</p>



議 長	<p>それでは、書写についても国語の後に協議するということで進めます。</p> <p>社会・地理的分野について協議を行います。お願いします。</p>
社会小委員長	<p>&lt;社会小委員長 入室&gt; 調査結果の報告</p>
議 長	<p>小委員長に質問はありませんか。</p>
委 員	<p>地理、歴史、公民それぞれの三分野に関連して、現代の社会的事象がどのように取り上げられていますか。また、自ら進んで学習したり、調べたりするなど、主体的な学習を促す内容についてどのように取り上げられていますか。</p>
社会小委員長	<p>1点目の地理、歴史、公民の三分野の関連ですが、全ての発行者が地理、歴史、公民の三分野に関連し現代の社会的事象を取り上げています。特に、日本文教出版が55箇所、教育出版が45箇所、東京書籍が43箇所となっています。</p> <p>2つ目の自ら進んで学習したり調べたりするなど、主体的な学習を促す内容については、全ての発行者が取り上げています。ページ数は、東京書籍が77ページ、教育出版、帝国書院、日本文教出版が46ページです。具体的には、東京書籍が「地理スキル・アップ」や「ためしてみよう」、教育出版が「読み解こう」や「地域調査の手引き」により主体的な学習を促しております。</p>
委 員	<p>北海道と関わりのある内容について、「その他」にページ数が記載をされていますが、その中でアイヌの人たちの歴史や文化に関する学習の内容について、各者どのような内容になっていますか。</p>
社会小委員長	<p>東京書籍の255ページを開いてください。北海道には元々アイヌの人たちが住んでいたということと、江戸時代には交易を行っていたこと。また、ほぼ全者において、シャクシャインの乱が取り上げられています。さらに、多くの教科書においてアイヌの人たちの文化について記載されているページが多くありました。</p> <p>&lt;社会小委員長 退出&gt;</p>
議 長	<p>それでは、社会・地理的分野についての協議を始めます。御意見をお願いします。</p>
委 員	<p>地理、歴史、公民3分野の関連性を図った教科書が望ましいです。また、北海道の取り上げ方に注目しますと、各者ともそれほど差は見られません。北方領土とアイヌの人たちの歴史や文化の取り上げ方に絞って考えると、取り上げている分量に限らず、東京書籍や教育出版は、非常に綿密に取り上げています。</p>

	<p>また、1 単位時間の学習の流れを見ていくと、各者とも学習課題を設定しており、それを基に授業が進められていくのが基本的な流れとなっています。しかし、東京書籍だけは、学習課題という言葉は明確に使ってはいません。学習課題を設定し、それに対するまとめを意識して構成しているのは、教育出版の「振り返る」、帝国書院の「確認しようと説明しよう」、日本文教出版の「確認と活用」です。この3 者が、学習課題を受けてまとめを行うことを意識したつくりになっているようです。</p> <p>この観点から見ていくと、北海道について取り上げる分量が多くて生徒が主体的な学習活動に取り組みやすく、また、まとめが意識されており、若い先生方においても使いやすいということから、総合的に教育出版がよいと考えます。</p>
議 長	<p>今、意見が1 つ出されましたが、他に御意見はありませんか。</p> <p>ないようですが、よろしいですか。</p> <p>各者とも、生徒が主体的に学習できるような工夫がされており、特に、北海道や課題とまとめを意識した構成になっているということなどから、教育出版がよいのではないかという御意見ですが、他にありませんか。</p>
委 員	<p>次に、歴史と公民についての協議を行います。3 分野の関連性があることから、次の議論も踏まえて最終的に決定していただくようお願いします。</p>
議 長	<p>今、御意見がありましたが、地理的分野については教育出版がよいのではないかという意見と、他の2 分野があるので総合的に判断した方がよいという意見です。</p> <p>まずは、3 分野それぞれ説明をいただいた後、全体を通して協議を行います。よろしいですか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
議 長	<p>それでは、いったんこの協議については打ち切りとさせていただきます。続いて、歴史についての協議を行います。お願いします。</p>
社会小委員長	<p>&lt;社会小委員長 入室&gt; 調査結果の報告</p>
議 長	<p>歴史的分野の説明が終わりましたので、小委員長に質問はありませんか。</p>
委 員	<p>地理、歴史、公民の3 分野に関連して、現代の社会的事象をどのように取り上げていますか。</p>
社会小委員長	<p>全ての発行者が、地理、歴史、公民の3 分野に関連し、現代の社会的事象を取り上げています。特に、教育出版が18 箇所、日本文教出版が17 箇所、東京書籍が15 箇所</p>

	<p>となっています。</p>
委 員	<p>それぞれの事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法をどのように取り上げていますか。また、北海道に関する歴史的事象をどのように取り上げていますか。さらに、ユニバーサルデザインについて、どのような配慮・工夫がなされていますか。</p>
社会小委員長	<p>1点目についてですが、全ての発行者が、社会的事象の意味や意義を解釈する学習、または、事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げております。ページ数については、教育出版が115箇所、清水書院が114箇所、日本文教出版が106箇所となっています。具体的には、例えば、教育出版が「ふりかえる」や「学習のまとめと表現」、清水書院が「まとめてみよう」や「各章をまとめてみよう」というような項目で取り上げられております。</p> <p>また、2つ目の北海道に関する歴史的事象の部分ですけれども、これについても全ての発行者が、北海道に関する歴史的事象を取り上げております。特に、帝国書院が90箇所、教育出版が60箇所、東京書籍が51箇所となっております。具体的には、帝国書院のP169において、「屯田兵の出身地」の資料を取り上げており、教育出版のP111において、「シャクシャインの像」の写真を取り上げています。</p> <p>さらに、3点目のユニバーサルデザインについては、多くの発行者が、ユニバーサルデザインについて配慮しています。特に、東京書籍では、ルビの文字にゴシック体を採用しております。また、教育出版は、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい配色やレイアウトを工夫しています。</p>
議 長	<p>小委員長の質問はこれでいったん終了させていただきますが、このあとの公民的分野も続けて説明していただいて、全体協議に入ります。引き続き公民的分野についての報告をお願いします。</p>
社会小委員長	<p>&lt;調査結果の報告&gt;</p>
議 長	<p>それでは、公民的分野について、小委員長に質問はありますか。</p>
委 員	<p>各者、基礎的・基本的な知識及び技能の習得についてどのような工夫が図られていますか。また、北海道に関する社会的事象をどのように取り上げていますか。</p>
社会小委員長	<p>基礎的・基本的な知識及び技能の習得についての工夫は、全ての発行者が、各章の学習内容のまとめとして、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るページについて掲載をしております。例えば、教育出版の「学習のまとめと表現」、東京書籍の「この章の学習を確認しよう」、日本文教出版の「学習の整理と活用」、帝国書院の「学習をふりかえろう」などの項目で取り上げられております。</p>

<p>委 員</p>	<p>また、北海道に関する社会的事象については、全ての発行者が取り上げています。特に、東京書籍が 24 箇所、教育出版が 19 箇所、帝国書院が 15 箇所となっています。具体的には、東京書籍では、栗山町における地方議会の活性化を取り上げており、教育出版では、倶知安町における「みんなで親しむ雪条例」等を取り上げています。</p>
<p>社会小委員長</p>	<p>それぞれの事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法をどのように取り上げていますか。また、最近話題になっているユニバーサルデザインについて、どのような配慮・工夫がなされていますか。</p> <p>それぞれの事象の特色や事象間の関連については、全ての発行者が社会的事象の意味や意義を解釈する学習及び事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げております。ページ数については、日本文教出版が 111 ページ、教育出版、帝国書院がそれぞれ 103 ページとなっています。具体的には、日本文教出版は「情報スキルアップ」や「チャレンジ公民」、教育出版は「章のねらい」や「ふりかえる」というコーナーで取り上げられています。</p> <p>また、多くの発行者がユニバーサルデザインについて、配慮をしております。例えば、東京書籍では、ルビの文字にゴシック体を採用しており、教育出版では、色覚特性のある生徒でも識別しやすい配色やレイアウトを取り入れております。</p> <p>&lt;社会小委員長 退出&gt;</p>
<p>議 長</p>	<p>まず、歴史的分野について協議に入ります。御意見はありませんか。</p>
<p>委 員</p>	<p>歴史的分野においては、我が国の国土と歴史に対する理解・愛情を深め、公民としての基礎的教養を養うことが求められております。そのため、3 分野に関連して現代の社会的事象を取り上げている教科書が望ましいと考えます。ですから、人権問題・国際紛争・国際教育・環境問題などバランスよく、より多く取り上げている教育出版あるいは日本文教出版などが望ましいです。</p> <p>また、生徒が興味・関心をもって学習することができるよう、地域の実態を生かした指導をすることが求められておりますので、北海道と関わりのある内容を取り上げている教科書がよいと考えます。ですから、アイヌの人たちの歴史や文化、道内の市町村をより詳しく取り上げている帝国書院や教育出版がふさわしいと考えます。</p> <p>さらに、課題解決型の学習が展開できるよう教科書の構成を工夫しているという点で、様々なコーナーを設けている帝国書院や教育出版、東京書籍などが望ましいです。</p>
<p>議 長</p>	<p>今の意見を総合的に考えますと、共通して取り上げられている発行者として、教育出版がよいということになるかと思えます。また、人権問題や国際問題に関する内容、アイヌの人たちの歴史や文化、道内の市町村の取り上げ方、課題解決に向けて生徒が</p>

<p>委 員</p>	<p>取り組みやすい点などから、教育出版がよいという御意見があります。</p> <p>次に公民的分野について協議を行います。</p> <p>生徒にとって基礎的・基本的な知識・技能を習得する学習を取り上げている教科書が望ましいという観点においては、全ての発行者で、目標を達成するための学習活動が取り上げられております。</p> <p>しかし、道の採択参考資料を見ますと、公民の10ページの⑦の中には、社会的事象の意味や意義を解釈する学習、事象間の関連を説明するページ数が出ておりまして、日本文教出版が111ページ、帝国書院が103ページ、教育出版が103ページとなっており、この3者が上位3つとなっております。</p> <p>また、北海道との関わりのある内容を取り上げている教科書が望ましいという観点から見ていきますと、東京書籍が29箇所、教育出版が23箇所ということで、東京書籍、教育出版の2者がふさわしいのではないかと考えます。</p>
<p>委 員</p>	<p>事象の特色あるいは関連について質問しましたが、基礎的・基本的な知識・概念を活用する、あるいは思考力・判断力・表現力等を確実に育むことが求められているということで、やはり事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げている教科書が望ましいです。</p> <p>小委員長からの報告では、全ての教科書で取り上げられているということでしたが、教育出版や日本文教出版がふさわしいです。また、ユニバーサルデザインについては、各者とも遜色はありませんが、教育出版においては、他者と比べて新しい観点で取り入れられています。こうしたことから、総合的には、教育出版が望ましいと考えます。</p>
<p>議 長</p>	<p>総合的な御意見をいただく中で、教育出版がよいという声が寄せられておりますが、これらの御意見に対して違う観点から御意見があればいただきたいですが、いかがでしょうか。</p> <p>それでは、特にないようですので、地理的分野・歴史的分野・公民的分野、それぞれに教育出版がよいのではないかとこの総合的な御意見から、教育出版がふさわしいと考えますがいかがでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>議 長</p>	<p>それでは異議なしと認めまして、社会科の地理的分野・歴史的分野・公民的分野については、それぞれ教育出版に決定します。</p> <p>次に地図についての協議を行います。小委員長から報告をいただきます。</p>
<p>地図小委員長</p>	<p>&lt;地図小委員長 入室&gt;調査結果の報告</p>

議 長	小委員長に質問はありませんか。
委 員	生徒が学ぶ意欲を高め、探究する力を育むことが求められていますが、そのような観点から、主体的な学習を促す内容をどのように取り上げていますか。
地図小委員長	東京書籍、帝国書院どちらの発行者も、自ら進んで学習したり、調べたりするなど主体的な学習を促す内容が取り上げられており、東京書籍が 53 箇所、帝国書院が 77 箇所取り上げられています。東京書籍は「ジャンプ」という表現でページ数を示したり、「キャラクターの吹き出し」によって主体的な学習を促したりしています。帝国書院は「やってみよう」や「地図を見る目」で課題が示され、主体的な学習を促しています。
委 員	北海道と関わりのある内容をどのように取り上げていますか。また、ユニバーサルデザインについて、どのような配慮・工夫がなされていますか。
地図小委員長	<p>どちらの発行者においても、北海道と関わりのある内容について取り上げられており、東京書籍は 53 箇所、帝国書院は 48 箇所となっております。東京書籍の P130 では、アイヌ語に由来する地名について地図を用いて示されております。帝国書院の P137 では、開拓の歴史とアイヌの由来について地図で示されております。</p> <p>また、2 点目のユニバーサルデザインについては、どちらの発行者においても配慮がなされています。東京書籍では、主題図やグラフにおいてカラーバリアフリーに配慮がなされており、帝国書院では、カラーバリアフリーに配慮するとともに、国語で学習する正しい字形となる書体を用いる配慮がなされています。</p> <p>&lt;地図小委員長 退出&gt;</p>
議 長	それでは、御意見をお願いします。
委 員	<p>北海道の扱いを中心に見てみますと、委員長から説明がありましたが、帝国書院は、生徒の主体的な学習を促すために、「やってみよう」「地図を見る目」というような学習ガイドがあり、そこで生徒が主体的に学習できるように構成されております。</p> <p>東京書籍は、北海道を扱ったページはなく、資料のページに記載されているのみです。また、ユニバーサルデザインへの配慮という点では、自治体の定めた名称・漢字を使っているのは帝国書院であり、東京書籍は、特に自治体の定めたものにこだわらない形で表記されています。</p> <p>また、帝国書院は鳥瞰図を用いて、中国やモンゴル周辺などを取り上げており、大陸の状況がイメージしやすいようになっています。</p> <p>さらに、地域の特色が分かるようにイラストを用いたり、色覚特性のある生徒への</p>

	<p>配慮で、国名や都道府県名が赤字に黒縁で示されたりしています。こうしたことから考えると、帝国書院が望ましいです。</p>
議 長	<p>総合的に帝国書院がよいという意見でありましたが、他に御意見はありませんか。ないようですので、地図については帝国書院がふさわしいということでよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>異議なし。</p>
議 長	<p>それでは、地図については帝国書院に決定します。 次に、数学についての協議を行います。</p>
数学小委員長	<p>&lt;数学小委員長 入室&gt; 調査結果の報告</p>
議 長	<p>小委員長に質問はありませんか。</p>
委 員	<p>領域や全体の分量についてどのような配慮がなされていますか。また、生徒のつまずきへの対応についてどのように工夫されていますか。</p>
数学小委員長	<p>1点目の分量についてですが、全ての発行者ともに、4領域のバランスが取られています。全体の分量については、ほとんどの発行者が前回よりページが増えており、教科の目標や内容を適切に反映したものとなっています。</p> <p>特に、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着に関わって、数と式の領域については、教育出版が262ページ、大日本が258ページ、学校図書が249ページとなっています。</p> <p>2点目の生徒のつまずきの部分ですが、全ての発行者が、生徒のつまずきに対応できるように誤答を取り上げており、教育出版が14箇所、東京書籍が14箇所となっております。</p>
委 員	<p>9年間を見通した系統的な学習に関わり、小学校算数との関連は、どのように取り扱われていますか。また、北海道と関連のある教材は、どのように取り扱われていますか。</p>
数学小委員長	<p>1点目の小学校との関連については、全ての発行者が取り扱っています。特に、教育出版では、小学校で学習した既習事項を取り上げたり、中学校数学との系統性について示したりしています。日本文教出版版では、小学校算数との関連を図ることができる内容を位置付けたり、学習の系統性を把握できるように目次に関連する事項を示したりしております。学校図書では、各領域の学習に入る前に、小学校算数との連</p>

	<p>携を図る振り返りのページを設定しています。</p> <p>2点目の北海道との関連については、全ての発行者が取り扱っています。東京書籍では「旭川市の気温」について、教育出版では「旭山動物園」についてです。また、学校図書は「陸別町の気温」や「札幌の桜の開花日」について取り扱っています。</p> <p>&lt;数学小委員長 退出&gt;</p>
議 長	<p>それでは、御意見ををお願いします。</p>
委 員	<p>1つ目に、生徒に基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ることが望ましいという観点から、例えば、教育出版、啓林館は座標について詳しく解説したページを設けています。式の計算では、教育出版が、多項式や定数項について、それぞれ詳しく解説しています。東京書籍、啓林館は多項式について詳しく解説しています。以上のことから、教育出版が、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るための工夫が充実されています。</p> <p>2つ目に、生徒のつまずきへの対応ということですが、例題において誤答を取り入れながら解決方法を確認していくということについて、教育出版が14、東京書籍が14、啓林館が14あり、教育出版、東京書籍が丁寧に取り扱って説明しています。</p> <p>3つ目に、教科書の巻頭に古代エジプトや中国の数字に関わる写真などを取り入れ、思考の広がりをもたせているという点から、啓林館は、方程式の由来について取り上げており、東京書籍は、「数学の窓」として教科書の途中に取り入れており、教育出版は、巻頭に取り入れています。</p> <p>4つ目に、小学校と中学校の関連ということです。先ほどの小委員長からの説明にありましたが、中学校第1学年の導入段階で、小学校の既習事項に触れて適切に関連を図るという点では、教育出版は、正の数・負の数の単元や文字と式の単元において、既習事項としてページを設けて復習をしてから、新しい学習に入るようにしています。東京書籍、啓林館についても同様のページを設けていますが、写真や図で既習事項を確認するつくりになっています。</p> <p>5つ目に、北海道との関連がある教材についてですが、東京書籍が多く取り上げていますが、全ての発行者で取り扱われておりますので、これらを総合的に判断すると、教育出版が望ましいと考えます。</p>
委 員	<p>各章の問題に入る前に、生徒の学習状況を把握するレディネステストがあり、教師にとっても、生徒の実態を把握することができるという利点があります。これを明確に位置付けているのは、教育出版、日本文教出版及び学校図書です。しかし、学校図書においては、既習事項として扱っており、テスト形式にはしていません。</p> <p>また、各章で評価の観点を明確に示しているのは、教育出版と日本文教出版です。さらに、数学的な考え方は、数学で一番大事な要素ですが、このことを教科書の中で</p>



	重視しているのが、教育出版、啓林館及び学校図書です。以上のことから総合的に考えますと、教育出版が望ましいと考えます。
議 長	総合的に判断して、教育出版が望ましいという御意見でありましたが、他に御意見があれば出してください。無いようですので、数学については教育出版がふさわしいと判断したいと考えますがよろしいでしょうか。
委 員	異議なし。
議 長	それでは、数学については教育出版に決定します。 次に、理科についての協議を始めます。小委員長から報告をいただきます。
理科小委員長	<理科小委員長 出席> 調査結果の報告
議 長	小委員長に質問はありませんか。
委 員	補充的な学習や発展的な学習について、各者どのように取り扱っていますか。また、北海道や上川管内についてどのように記述されていますか。
理科小委員長	補充的な学習や発展的な学習については、全ての発行者が、単元末や学年末に練習問題を設けるなどの補充的な学習や、習得した知識・技能を生かした実験や観察などを例示する発展的な学習を設けています。特に、発展的な学習については、大日本図書は114箇所、教育出版は93箇所、東京書籍は81箇所です。北海道や上川管内に関する記述については、全ての発行者が取り扱っており、啓林館では、三笠市のアンモナイトなど39箇所、教育出版では美瑛町のダイヤモンドダストや上川町のアイスパビリオンなど29箇所、東京書籍では有珠山など16箇所です。
委 員	小学校で習った理科との関連については、各者どのように取り扱われていますか。また、ユニバーサルデザインについては、どのような配慮や工夫がありますか。
理科小委員長	1つ目の小学校理科との関連につきましては、全ての発行者が小学校との関連を図っており、特に、東京書籍では、小学校の既習事項を確認できるように工夫しています。また、教育出版では、単元で扱う内容に関わりのある小学校の内容を章の始めに示すようにしています。さらに、学習図書では、学習内容の系統性が分かるように表現を工夫しています。 2つ目のユニバーサルデザインにつきましては、全ての発行者が、文字の大きさや読みやすさなどにおいて配慮されています。特に、教育出版では、配色やレイアウトについて工夫しており、大日本図書では、読みやすいように改行の位置を工夫してい

	<p>ます。また、啓林館では、落ち着いた色あいとなるよう紙面構成を工夫しています。</p> <p>&lt;理科小委員長 退出&gt;</p>
議 長	<p>それでは協議に入ります。御意見をお願いします。</p>
委 員	<p>先ほど小委員長の説明にもありましたが、補充的な学習や発展的な学習、北海道や上川管内に関する記述については、各者とも工夫しています。また、小学校理科との関連については、小・中学校9年間を見通した系統的な学習を行うことを考えますと、総合的に判断して教育出版が望ましいです。</p>
委 員	<p>北海道に関わる記述と内容については、小学校から中学校への系統性において、北海道の気候風土や生活に密着した内容が大切です。そのような点では、教育出版に火山活動や冬の気候風土、太陽光発電や風力発電などの北海道の特徴を捉えた科学的な記述が多くあります。そのような点から総合的に考えると、教育出版が望ましいと考えます。</p>
議 長	<p>総合的に判断して、教育出版が望ましいという御意見がありましたが、これ以外に何か御意見はありませんか。なければ、理科については、教育出版がふさわしいと考えますがよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>異議なし。</p>
議 長	<p>それでは、理科については1分野・2分野ともに教育出版に決定します。</p> <p>次に、音楽についての協議を行います。音楽は、一般と器楽がありますが、先ほどと同様、それぞれ説明の後に質疑を行います。</p>
音楽小委員長	<p>&lt;音楽（一般）小委員長 入室&gt;調査結果の報告</p>
議 長	<p>今、音楽一般についての報告がありましたが、質問はありませんか。</p>
委 員	<p>生徒が興味・関心をもって、意欲的に学習に取り組むために、どのような工夫が見られますか。2者の比較を通して説明をお願いします。また、国歌「君が代」は、どのように取り扱われていますか。</p>
音楽小委員長	<p>1つ目の興味・関心につきましては、両者とも、生徒の興味・関心を高めることができるよう、作曲者のコメントなどを記載したコラムを扱っております。具体的には、教育出版が13箇所、教育芸術社が8箇所となっています。</p>

委員	<p>2つ目の国歌「君が代」につきましては、両者が歌唱教材として巻末付近に1箇所掲載しております。特に、教育出版では、「さざれ石」の写真を掲載するなど、歌詞の内容を視覚的にも理解できるよう配慮されています。</p> <p>北海道や上川管内と関連のある教材は、どのように取り扱われていますか。また、ユニバーサルデザインに配慮した紙面づくりについては、どのような工夫がされていますか。</p>
音楽小委員長	<p>1つ目の北海道や上川管内との関連については、両者とも、北海道と関連のある教材を扱っていますが、具体的には、教育出版が大雪クリスタルホールの歌碑など9箇所、教育芸術社がアイヌの古式舞踊など6箇所扱っています。</p> <p>2つ目のユニバーサルデザインについては、両者とも、配慮した紙面づくりになっていますが、教育出版では、色覚特性や特別支援教育の観点に立った紙面づくりを心掛けています。教育芸術社では、教材そのものの難易度について配慮するとともに、重要な学習事項が優先的に目に入るようなシンプルなデザインになっています。</p>
議長	<p>次に、器楽について説明をお願いします。</p>
音楽小委員長	<p>&lt;音楽（器楽）&gt;調査結果の報告</p>
議長	<p>小委員長に質問はありませんか。</p>
委員	<p>共通事項を示すタイトルや項目についてどの程度扱われていますか。また、主体的に学習に取り組んだり、見通しをもったりするための工夫にはどのようなものがありますか。</p>
音楽小委員長	<p>1つ目の共通事項については、両者とも扱っていますが、具体的には、教育出版が「活動のポイント」というタイトルなどで56箇所、教育芸術社が「題材のタイトル及び活動内容」という項目で15箇所掲載されています。</p> <p>2つ目の、生徒の主体的な学習については、両者とも、生徒が主体的に学習に取り組んだり、見通しをもったりするための工夫がなされています。具体的には、教育出版が「吹き出し」や「演奏のポイント」など8箇所、教育芸術社が「Q&amp;A」や「音を聴いて確かめよう」など45箇所掲載しております。</p>
委員	<p>我が国や郷土の伝統音楽についてどの程度扱われていますか。また、ユニバーサルデザインに配慮した紙面づくりについては、どのような工夫が見られますか。</p>
音楽小委員長	<p>1つ目の我が国や郷土の伝統音楽については、教育出版が11箇所、教育芸術社が</p>

	<p>10 箇所掲載しています。</p> <p>2 つ目のユニバーサルデザインについては、先ほどの一般と同じですが、例えば、教育出版では、色覚特性や特別支援教育の観点に立った紙面づくりを心掛けています。また、教育芸術社では、教材そのものの難易度を配慮して、重要な学習事項が優先的に目に入るような、シンプルなデザインを取り入れております。</p> <p>&lt;音楽小委員長 退出&gt;</p>
議 長	<p>それでは、協議に入ります。まず、音楽一般についての御意見はありませんか。</p>
委 員	<p>まず、学習内容が明記されていて、生徒が覚えるべきものが分かりやすく示されているかという点については、教育出版の方が優れていると考えます。また、音楽一般で、器楽も扱うことになっていますが、教育出版では第1学年から第3学年まで相当数の教材を扱っていますが、教育芸術社では、第1学年で1つ扱っているのみとなっています。</p> <p>次に、北海道との関連のある教材については、教育出版の方が多く扱っています。</p> <p>さらに、ユニバーサルデザインについては、教育芸術社はシンプルなデザインの中でまとめられていますが、教育出版は、色覚等の特性を踏まえ判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫がなされています。これらのことを総合的に判断して教育出版が望ましいと考えます。</p>
議 長	<p>音楽一般に関して他に御意見はありませんか。</p> <p>なければ次に、器楽についての御意見をいただきます。</p>
委 員	<p>器楽については、楽器についての説明が分かりやすいことが大切であると考えます。そのような観点で見ると、教育出版の方が優れています。また、表現と鑑賞の活動の支えとなる指導内容を共通事項として示していますが、共通事項については、教育出版が56箇所あります。このようなことから総合的に判断すると教育出版が望ましいと考えます。</p>
議 長	<p>総合的に判断して、教育出版が望ましいという御意見でした。音楽については、教育出版が望ましいと考えますがいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>異議なし。</p>
議 長	<p>音楽については教育出版に決定します。</p> <p>それでは、次に、美術についての協議に入ります。</p>

美術小委員長	＜美術小委員長 入室＞調査結果の報告
議 長	小委員長に質問はありませんか。
委 員	育成する資質や能力と学習内容との関係について、各者どのように取り扱っていますか。また、発想や構想を促すヒントや見通しをもって活動できるようにするための工夫について、どのくらい取り上げていますか。
美術小委員長	全ての発行者が、題材で育成する資質や能力と学習内容との関係について、「題材のねらい」や「学習の振り返り」として示すなどの工夫がなされております。特に、題材の冒頭については、光村図書が「目標」と「問いかけ」、日本文教出版が「学びのねらい」として示しています。また、全ての発行者が、作者の言葉や囲み、コラムなどで、発想や構想を促すヒントなどを示しており、具体的には、開隆堂が 335 箇所、日本文教出版が 191 箇所、光村図書が 125 箇所掲載しております。
委 員	北海道や上川管内と関わりのある作品について、鑑賞だけではなく、広がりのある展開として北海道の題材を使っている例はありますか。また、ユニバーサルデザインについては全ての教科書で扱っていると思いますが、その中で色覚特性や特別支援教育への配慮がどのようになされていますか。
美術小委員長	<p>1 つ目の北海道や上川管内と関連のある作品についてですが、全ての発行者が北海道と関連のある教材を扱っており、具体的には、光村図書がモエレ沼公園など 12 箇所、日本文教出版が上川町の風景「山あいにかかった虹」など 8 箇所、開隆堂がモエレ沼公園など 4 箇所となっています。</p> <p>2 つ目のユニバーサルデザインについては、全ての発行者が、ユニバーサルデザインへ配慮した紙面づくりを行っており、例えば、光村図書では、色覚特性や特別支援教育の観点に立った編集とデザインを心掛けております。また、日本文教出版では、文字の大きさや行間隔、二段組みの段間隔など、誰もが読みやすいような配慮をしています。</p> <p>＜美術小委員長 退室＞</p>
議長	それでは、協議に入ります。御意見をお願いします。
委 員	まず、育成する資質や能力と学習内容との関係性について、美術という枠にとらわれないでどのような広がりをもっているかという点では、光村図書は道徳的な要素の項目があります。また、心の問題やコミュニケーション能力、表現などの広がりが感じられます。

	<p>また、美術から文学や食、音楽とのつながりあるいは産業デザイン、映像とのつながりが取り上げられており、美術だけの枠にとどまらず、美術が社会にどのような役割果たしているかが示されています。</p> <p>さらに、発想や構想を促すヒントや見通しをもって活動するための手立てについては、3者ともにそれぞれ特徴を出していますが、先ほど小委員長からの説明にあったとおり、特に、光村図書では、幼・小のつながりを踏まえた「繰り返し」や「コーナー」などを細かく内容として盛り込んでいます。</p> <p>次に、北海道と関連のある教材ということでは、素材の数では、光村図書が多いです。</p> <p>また、ユニバーサルデザインについては、3者とも扱っていますが、色覚特性について配慮をしているのは、光村図書だけでした。</p> <p>さらに、つくりでは、各者それぞれ特色がありますが、特徴的だったのは光村図書と開隆堂において、作品を原寸大で2、3点取り入れているということです。これは、光村図書では、粘土と絵画においてゴッホの絵があるのですが、その作品の細かい筆のタッチや粘土の質感まで表現できています。</p> <p>また、題材の数については、光村図書が一番多くなっており、総合的に判断すると、光村図書がふさわしいと考えます。</p>
委 員	<p>原寸大で取り扱っているというのは、光村図書だけではなくて日本文教出版も同様です。葛飾北斎については、和紙でできていると聞いております。</p> <p>排列や使いやすさなど、日本文教出版は、専門的な教科書と言えます。大胆さや質的な面においてよく、特に際立ったのが原寸大で和紙を使ったページです。</p>
議 長	<p>今、光村図書と日本文教出版で意見が分かれておりますので、これも後ほど再度協議を行います。よろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
議 長	<p>次に、保健体育の協議に入ります。小委員長から報告をいただきます。</p>
保健体育小委員長	<p>&lt;保健体育小委員長 入室&gt; 調査結果の報告</p>
議 長	<p>小委員長に質問はありませんか。</p>
委 員	<p>生徒自身が主体的に学ぶことができる様な取組や学習したことを更に調べたり、考えたりする内容について、各者どのように取り上げていますか。</p>
保健体育小委	<p>全ての発行者が、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう、「やってみよう」</p>

員長	<p>「考えよう」などのコーナーを設けております。具体的には、学研が103箇所、大日本図書が92箇所、東京書籍が72箇所掲載しています。</p> <p>また、全ての発行者が、学習したことを活用して、更に調べたり考えたりする内容を取り上げておりまして、具体的には、東京書籍が64箇所、学研が59箇所、大修館が49箇所掲載しております。</p>
委 員	<p>ユニバーサルデザインへ配慮した紙面づくり等の工夫は見られますか。</p>
保健体育小委 委員長	<p>4者全てがユニバーサルデザインへ配慮した紙面づくりを行っており、例えば、東京書籍では、色覚問題の研究者に校閲を依頼し、ユニバーサルデザインの観点から検証を行っており、大修館では、カラーユニバーサルデザインに基づき、グラフの表現や色使いに注意しております。</p>
	<p>&lt;保健体育小委員長 退出&gt;</p>
議 長	<p>それでは、協議に入ります。御意見をお願いします。</p>
委 員	<p>小・中・高の連携という視点では、小学校で学んだことや高校で学んだことなど、連携を意識した構成になっているのが、学研と東京書籍です。</p> <p>また、生徒が主体的に学習に取り組む流れになっているかという視点では、1単位時間の学習の流れが5段階になって進められているのが、学研と東京書籍で、3段階になっているのが大修館と大日本図書です。1単位時間の学習の流れについては、きめ細かい方がよいと考えます。</p> <p>さらに、学習の目標が明確になっていたのは、学研、東京書籍及び大日本図書でした。</p> <p>また、学習内容という視点から見ますと、学研と東京書籍の2者が豊富であると考えます。</p> <p>北海道に関する内容については、東京書籍は3箇所、学研が4箇所です。内容面では、学研と東京書籍の2者に絞られます。しかし、教科書のサイズについては、大日本図書と東京書籍が大きくなっています。学習内容については、学研と東京書籍で大体同じですが、中身の見やすさになると、東京書籍がよいと考えます。</p>
議 長	<p>総合的に判断すると学研と東京書籍がよく、特に教科書の見やすさや内容の豊富さなどを考えると東京書籍がよいという御意見でした。この他に何か御意見はありませんか。</p> <p>御意見がありませんので、保健体育については、東京書籍が望ましいと考えますが、いかがでしょうか。</p>

委 員	異議なし。
議 長	<p>それでは、保健体育については東京書籍に決定します。</p> <p>次に、技術分野・家庭分野について協議を行います。</p>
技術家庭小委員 員長	<p>&lt;技術家庭小委員長 入室&gt;技術分野についての調査結果の報告</p> <p>小委員長に質問はありませんか。</p>
委 員	<p>補充的な学習及び発展的な学習についてどのように扱われていますか。また、環境や消費、日本の伝統等の今日的な課題に関してどのように取り扱われていますか。</p>
技術家庭小委員 員長	<p>1つ目の、補充的な学習及び発展的な学習については、全ての発行者が扱っております。特に、開隆堂では「LEDのしくみや特徴」について、教育図書では「発光ダイオードの原理」について取り扱っています。</p> <p>2つ目の、環境や消費、日本の伝統等の今日的な課題については、全ての発行者が、学習指導要領の趣旨を踏まえ、環境や消費、日本の伝統に関する内容を取り上げております。掲載箇所については、東京書籍が39箇所、開隆堂が32箇所、教育図書が23箇所となっております。</p>
委 員	<p>学習のねらいやまとめについてどのように扱われていますか。また、情報モラルやセキュリティについてどのように扱われていますか。</p>
技術家庭小委員 員長	<p>1つ目の、学習のねらいやまとめについてですが、東京書籍では、学習のまとまりごとに「目標」「初めの活動」「まとめの活動」が設定されています。教育図書においては、各節のはじめに、「学習のねらい」や各領域の終わりに、「まとめ」と「章末問題」が設定されています。開隆堂では、学習項目の冒頭に「学習の目標」、学習の節目に「振り返り」が設定されています。</p> <p>2つ目の情報モラル及びセキュリティの関係については、東京書籍では、10ページ扱われており、また、「情報モラルマーク」を付けて関連ページを参照できるように配慮されています。教育図書では、3ページ扱われており、重要語句が文章とイラストで詳しく説明されています。開隆堂では、12ページ扱われており、「情報モラルリンクマーク」を用いて関連ページを参照できるように配慮されています。</p>
議 長	<p>その他ございますか。それでは次に、家庭分野について報告をお願いします。</p>
技術家庭小委員 員長	<p>家庭分野についての調査報告の結果</p>



議 長	小委員長に質問はありませんか。
委 員	自ら進んで調べることができる資料については、どの程度扱われていますか。また、家庭学習との関連については、3者どのように扱われていますか。
技術家庭小委員長	<p>1つ目の、自ら進んで調べることができる資料については、全ての発行者が取り上げています。掲載箇所については、開隆堂が72箇所、東京書籍が27箇所、教育図書が17箇所となっています。</p> <p>2つ目の、家庭学習との関連については、全ての発行者が取り上げており、学習した事項を振り返ることができるように、「基礎技能」や「学習のふり返し」として掲載しています。特に、東京書籍では、「基礎技能としての計量」についての記載があり、開隆堂では、「生鮮食品と加工食品の表示」について記載があります。</p>
委 員	学習のねらいやまとめについてどのように扱われていますか。また、北海道と関わりのある内容についてどのように扱われていますか。
技術家庭小委員長	<p>1つ目の、学習のねらいやまとめについては、例えば、東京書籍では、学習のまとめごとに「目標」「はじめの活動」「まとめの活動」が設定されています。また、教育図書では、「学習の目標」や「キーワードチェック」欄、「学習の振り返り」が設定されています。さらに、開隆堂では、学習項目の冒頭に「学習の目標」、学習の節目に「ふり返し」が設定されています。</p> <p>2つ目の、北海道と関わりのある内容については、全ての発行者が取り上げており、例えば、東京書籍が「日本各地の住まいの例」など12箇所、開隆堂が「気候風土と住まいの概観」など10箇所取り上げております。</p> <p>&lt;技術家庭小委員長 退出&gt;</p>
議 長	それでは、協議に入ります。初めに技術分野について御意見をお願いします。
委 員	基礎的な知識・技能やまとめ、目標の位置付けなど、どの教科書もほとんど変わらないが、特に、情報モラルやセキュリティについては東京書籍と開隆堂が同様の分量を扱っています。また、まとめの位置付け方や「安全マーク」の使用など、総合的に判断すると開隆堂が使いやすいと考えます。
議 長	次に、家庭分野についての協議をお願いします。
委 員	家庭分野についても、どの教科書もほとんど変わりはないという印象ですが、特に、自ら進んで学べる資料になっているという点で、開隆堂がよいと考えます。

	<p>また、北海道との関わりについては、東京書籍と開隆堂がほぼ同じような項目を扱っています。総合的に考えると開隆堂がよいのではないかと考えます。</p>
議 長	<p>総合的に判断すると開隆堂がよいのではないかという御意見でしたが、そのように考えてよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>異議なし。</p>
議 長	<p>技術・家庭については、技術分野・家庭分野ともに開隆堂に決定します。 次に、英語について協議を行います。英語の小委員長から報告をいただきます。</p>
英語小委員長	<p>&lt;英語小委員長 入室&gt; 調査結果の報告</p>
議 長	<p>小委員長に質問はありませんか。</p>
委 員	<p>生徒が自ら進んで学習に取り組むために、各者どのような配慮や工夫がなされていますか。また、語いや熟語、関連する表現などはどの程度扱われていますか。</p>
英語小委員長	<p>1つ目の、生徒が自ら進んで学習に取り組むために、教育出版では、各学年で「まとめの活動プロジェクト」を設定し、1年生では自己紹介文を書いたり発表したりする活動、2年生ではアンケート調査を捉えてその結果をまとめて発表する活動、3年生では自分たちの街のガイドブックを作成する学習を設定しています。また、東京書籍では、「まとめ学習」において、自分たちの課題を解決する能力育成の課題が示されています。さらに、開隆堂の「学び方コーナー」では、学習習慣を確立する配慮がなされております。</p> <p>2つ目の、語いについては、東京書籍では、まとめの練習の中でその単語を使って文法事項を比較的に整理し、復習することができるようになっています。語い数については、東京書籍は前回が1221、今回は1329で100語以上増えており、少ないところで1274、多いところで1453ということで、前回の教科書より各者それぞれ100語以上増えている状況になっています。</p>
委 員	<p>北海道に関連のある教材は、どのように取り扱われていますか。また、ユニバーサルデザインについて、どのような配慮や工夫がなされていますか。</p>
英語小委員長	<p>1つ目の、北海道に関連のある教材については、光村図書以外、各者取り上げておりまして、例えば、教育出版では2年生でelm tree、3年生では高梨沙羅さんを取り上げております。また、開隆堂においては、知床の世界遺産などを取り上げています。</p> <p>2つ目の、カラーユニバーデザインについては、視覚障害者の特性に対応した判読</p>

<p>議 長</p> <p>委 員</p>	<p>しやすい配色やレイアウトが各者表現されています。特に、教育出版では、巻末にユニバーサルフォントを使ったワードリストを掲載しております。また、東京書籍では、視覚特性の研究者による検証を行い、読みやすさについて細心の注意を払い、全ての生徒に分かりやすい内容になっております。</p> <p>&lt;英語小委員長 退出&gt;</p> <p>それでは、協議に入ります。御意見をお願いします。</p> <p>英語の教科書は、小学校の外国語活動からのつながりと、高校に向けた連続性が一つの視点として必要であると考えます。</p> <p>また、英語は生涯にわたって勉強する語学であると考え、中学生であるこの時期というのは、基礎・基本の定着をしっかりと考える必要があります。大きくこの2つの視点においてそれぞれの教科書について検討してみました。</p> <p>1点目は、小学校の外国語活動とのつながりについてです。小学校の外国語活動では、「Hi, friends」という教材が使われています。この教材は、簡単な語を使った質問など、コミュニケーションの素地を養う段階の学習が行われています。東京書籍は、この辺りを明確に意識したつくりになっています。</p> <p>それ以外の教科書については、小学校との接続について多少意識はされていますが、明確なつながりは感じられませんでした。</p> <p>2点目は、語い数や熟語、関連する表現や発音、英文法などの基礎の定着についてです。6者の教科書を比較すると、三省堂、開隆堂、東京書籍、光村図書については、多く取り上げられていますが、教育出版については、本文の量が非常に多いため、文法等については、少し難解であると考えます。</p> <p>3点目は、聞く・話す・読む・書くの4領域のバランスについてです。東京書籍は、4領域をバランスよく学習させる内容になっており、それ以外の教科書については、ほぼ同じような内容だと考えます。</p> <p>4点目は、自ら意欲的に興味・関心をもって学習することができる内容となっているかについてです。具体的には、日本の文化と異文化についての話題や日常生活でも使える英語が取り上げられているかということです。これについては、6者ともほぼ同じような内容になっていると判断しています。しかし、学校図書に関しては、そのような内容が少し足りないです。</p> <p>5点目は、見通しをもって学習に取り組み、主体的な学習を促す内容になっているかという点についてです。具体的には、学習の手順が理解しやすく、学習の振り返り等に取り組みやすいかということです。これについては、開隆堂、光村図書が非常に分かりやすいと思います。教育出版は、本文の量が非常に多いので、少し難しいです。</p> <p>6点目は、高校入試につながる部分についてです。入試の問題では、長文読解力などが必要になってきますが、そのことを踏まえた内容になっているかということです。</p>
-----------------------	---

委 員	<p>教育出版は、このことについては一貫して重視しています。また、三省堂や東京書籍についても、その辺りをしっかり位置付けています。</p> <p>全体を通して6つの視点の中で各者を見ますと、東京書籍が4つの項目について優れていました。次に、2つの項目が当てはまるのが開隆堂や光村図書、三省堂です。総合的に判断しますと東京書籍が最もバランスが取れた教科書であると考えます。</p> <p>現在の英語は、まず聞く・話すの領域を学習し、その次に読む・書く学習を行います。話す・聞くについては、生徒は大変トレーニングされていますが、書くことについてはとても不安を感じています。</p> <p>今の教科書は、基本文というものが出ており、基本文をしっかり身に付けると、日常生活において触れる英語には十分対応できます。例えば、東京書籍では、ユニットごとに基本文を提示し、それを変化させて応用的な力を身に付けるつくりになっており、とても分かりやすくなっています。</p> <p>他の教科書も基本文を工夫して提示していますが、東京書籍の方が分かりやすいという印象を受けます。基礎的な力をしっかりと身に付けることが生徒の将来にとって大切なことです。各者とても工夫していますが、基本文をしっかりと身に付けることについては、東京書籍が優れていると考えます。</p>
議 長	<p>発行者が変わることが考えられるので、再度確認する時間が必要です。</p>
議 長	<p>この後再度、協議を行う予定ですが、時間がなくて今日採択できない場合は、予備日を設定しております。</p>
議 長	<p>最後に、特別支援について協議を行います。小委員長から報告をいただきますが、特別支援については教科用図書の採択ではございませんので、調査研究の結果の報告を聞いて、それに対しての質問を受ける形で進めます。</p>
特別支援小委員長	<p>&lt;特別支援小委員長 入室&gt;調査結果の報告</p>
議 長	<p>小委員長に質問はありませんか。無いようなので、以上で終わります。</p>
議 長	<p>確認ですが、再協議するのは、国語・書写・美術・英語という4種目で間違いありませんか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
議 長	<p>美術については、日本文教出版と光村図書の2つに意見が分かれています。</p> <p>また、国語・書写・英語については、発行者が変わることが考えられるため、慎重</p>

	<p>な協議が必要だという御意見がありますので、そのような点を確認します。</p> <p>意見が分かれた場合は２者に絞り、再度協議を行うということが基本的な考え方です。意見が確実に分かれてはいないが、発行者が変わるということに対してやはり十分な検討が必要だという意見が出されましたので、このことについて、皆様の御意見をいただきます。</p>
委 員	<p>採択協議会の全会一致の精神に迫っていくことが大事であるという意味で、再度検討する機会があつてよいのではないかと考えます。</p>
議 長	<p>この後の協議で合意できないとすれば、次回の会議において再度協議を行うという考え方で進みますが、よろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>はい。</p>
議 長	<p>それでは、国語から協議を再開します。御意見をお願いします。</p>
委 員	<p>光村図書は、まず、目標設定をしっかり定めており、目標に対してどのように読めばよいのか分かりやすく示しています。例えば１年生の３３ページには学習目標があり、「１．確認しよう」、「２．読みを深めよう」、「３．自分の考えをもとう」というように示されております。３番目の「自分の考えをもとう」という箇所については、教材を読むことを通して、自分の考え方をもちことが大事だということを示しています。また、次期改訂の新学習指導要領に対応して、アクティブ・ラーニングにもつながるものになると考えます。さらに、「学習の窓」において、学習内容を簡潔に分かりやすく示しています。</p> <p>このような学習の進め方を表しているのは、光村図書だけです。また、「リンクマーク」で第１学年の３３ページから３２７ページに関連個所を示し、生徒の読みを更に深めるための手立てが取られています。</p> <p>まとめると、１つ目に、身に付ける力が明確に分かる教科書であること、２つ目に、言葉への感覚が豊かになる教科書であること。３つ目に、生徒がどのように自分の信念や生き方を選択していけばよいのかを導くなど生き方を教える教科書であることです。</p>
委 員	<p>今の意見に反対という立場ではありませんし、委員の発言の趣旨は理解できますが、光村図書は、題材が難しいという意見がありますので、中学校の教科書で扱われている題材について、時間をいただければ少し調べたいと考えています。</p>
委 員	<p>光村図書は、様々な題材を豊富に掲載しています。決して教科書を難しくしているわけではなく、小学校からのつながりを大切にしていますので、第１学年では分かり</p>

	<p>やすい内容を取り上げ、学年が上がるにつれ難易度を上げています。</p> <p>また、光村図書の教科書はよく研究されており、例えば、東京書籍の第1学年の95ページに掲載されている「ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか?」という教材がありますが、これは、反戦運動の本であり、人を殺すときどこを撃つとよいのかなど、伝える表現が生々しすぎて中学生には相応しくない本だと考えます。</p> <p>もう1つは、第3学年の286ページに掲載されている「ヘヴン」という教材ですが、「弱いことにも強いことにも意味はある」という意味合いのある内容であり、いじめられている子がいじめを乗り越えていく話ですが、そのことは非常に大切なことではありますが、その内容においていじめの描写が生々しく書かれている部分があり、いじめの手法の方に目が行ってしまう危険性があるのではないかと考えます。</p> <p>また、教育出版では、第2学年の33ページに掲載している「晩年の子供」の中の「花火」という教材は、姉の不倫の話でありまして、性の描写が書かれている本であります。中学生にはあまり相応しくない本ではないかと考えます。</p> <p>今、申し上げた、「ネルソンさんあなたは人を殺しましたか」や「ヘヴン」、「晩年の子供」については、図書館において偶然にも見る機会があったのですが、その点、光村図書は、そのような所に注意を払って教材を選んでいきます。</p>
委 員	<p>今の指摘は理解できましたが、逆に、光村図書の教科書において、相応しくない箇所は一切なかったのですか。今取り上げられた出版者の教材は、教科書検定を受けていますので、相応しくないものは載ってないはずですよ。</p> <p>やはり、生徒の発達の段階をしっかりと踏まえ、各者で取り上げる価値があるということと判断して、教科書検定を受けてきていると理解しています。</p>
委 員	<p>私が3つの本を読んで文学的には本当に素晴らしいと感じましたが、描写という点については度が過ぎるかと感じたものですから、あえて述べさせていただきました。やはり中学校の教科書であれば、同じ内容を扱うにしても、他の本を紹介した方がよかったのではという考えです。</p>
委 員	<p>国語・書写だけではなく、今、協議に上がっているのは国語・書写・美術・英語の4種目です。議長が言われたように、反対するとかそういうことではなくて、そういう意見を基に自分なりにもう一度もち帰って、検討して進めていきたいということです。</p>
委 員	<p>私も、今の意見のように進められたらよいと考えます。</p>
議 長	<p>今の状況ですと、各委員においてももう少し時間がほしいという意見が聞かれます。</p> <p>次回もう1度協議する場を設定しますが、再度の協議においても決定しない場合は、多数決で決めるということ、前回の協議の中で確認されています。よろしいですか。</p>

委 員	はい。
議 長	<p>それでは、協議する発行者の確認をしていきますが、国語については東京書籍と光村図書で、書写についても同様となります。</p> <p>また、美術については、先ほど2つの意見が明確に出ておりましたので、日本文教出版と光村図書です。さらに、英語につきましては、教育出版と東京書籍です。</p>
委 員	<p>1点確認ですが、前回の協議の時に、再度議論になるときは、論点を明確にして協議をした方がよいということです。最低でも学習指導要領の目標と内容を踏まえて、それを効果的に達成できる教科書はどの出版者かという視点だけ確認していただけないでしょうか。</p>
議 長	<p>それでは、学習指導要領の目標と内容ということをベースにおきながら、本日、各委員から出された意見を参考に次回の協議に参加いただきますが、よろしいでしょうか。</p>
委 員	はい。
議 長	<p>それでは、次回は8月3日13時30分から、会場は204号会議室で行います。最終的に、本日決定した教科書について確認します。</p> <p>社会は、全分野ともに教育出版です。</p> <p>地図は、帝国書院です。</p> <p>数学は、教育出版です。</p> <p>理科は、二分野とも教育出版です。</p> <p>音楽は、一般・楽器ともに教育出版です。</p> <p>保健体育は、東京書籍です。</p> <p>技術・家庭は、両分野ともに開隆堂です。</p> <p>それでは、今日の協議会は以上で終了します。ありがとうございました。</p>